

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                              |   |          |
|----------------|------------------------------|---|----------|
| ○事業所名          | ARCH                         |   |          |
| ○保護者評価実施期間     | 年 月 日 ～ 年 月 日                |   |          |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                       | 0 | (回答者数) 0 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日 |   |          |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                       | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 25日                |   |          |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                    | さらに充実を図るための取組等                    |
|---|--|--|-----------------------------------|
| 1 | 自由な時間（曜日も含む）で利用が出来る事                       | 契約時に曜日レギュラーの概念がない事。<br>当日でも利用できる事を保護者や子ども達に徹底してお伝えをしている。 | ニーズが隠れている子に対して保護者も含めて提案していく。      |
| 2 | 夜遅くまで時間の営業                                 | 中高生達が通いやすいように時間設定を行っている                                  | ニーズに合わせて形を作ります。                   |
| 3 | 個別対応                                       | 状況に合わせて個別対応を行っている  | 個別対応をしっかりと出来るようにスタッフのスキルアップを行っていく |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                            | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 子どもの意志で休めてしまう                              | 中高生という事で自分達でスケジュール管理をしていること、休む事へのハードルが下がっている | 休むという事がダメなのではないので、他の曜日での利用の提案をしつつ自分達でリスク出来る力をつけていけるように支援する。                  |
| 2 | 選択制プログラム                                   | プログラムを選択出来る事で自己選択自己決定を行えるが甘えに走り続ける事も出来る      | どのような形でもARCHに来所する事でしっかりと支援できる環境状況を作りつつ子ども達自身もなぜARCHに通っているのか理由を一緒に考えていく時間を設ける |
| 3 | レギュラーでの利用がない                               | 曜日や時間での固定がないので曜日や時間帯によって利用数の差が出来る            | 利用数の少ない時間に特別なプログラムやイベント、ニッチな需要を満たせる時間を設定し、その時間でしか行えないプログラムを作り、利用を分散させる。      |